

## 第39回 通常総会資料

平成27年6月9日(火)

東京都墨田区錦糸1-2-2

東武ホテル レパント東京

TEL 03-5611-5511(代表)

全日本プラスチックリサイクル工業会

東京都墨田区東駒形 2-18-12

TEL 03-3625-5651

## 総会次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事
  - 1) 第1号議案 平成26年度事業報告及び決算関係書類承認の件  
(監査報告)
  - 2) 第2号議案 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
  - 3) 第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件
  - 4) 第4号議案 役員改選の件
6. 議長挨拶降壇
7. 万歳三唱
8. 閉会のことば

## 懇親パーティー

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾杯
4. 中 〆

## 第1号議案

平成26年度 事業報告書

自 平成26年5月1日

至 平成27年4月30日

### 概況

平成27年5月作成

昨年より一層円安が進み金融商品は活況を呈しております。しかしながら一般国民の収入は改善されず、消費増税は先送りとなりました。

一方貿易収支をみますと、円安にもかかわらずエネルギー関連価格の下落により、昨年度より大幅に改善しました。しかし輸出については相変わらず上昇気流に乗ることができません。大手企業はグローバル化が進み為替変動を吸収できる仕組みを作り上げた結果大幅な増収となりましたが、一方中小製造業においては円安による原材料高、輸出の停滞により曇り時々雨といった景況感でした。

当工業会の会員の皆様におかれましてもおおむね好景気というには隔たりのある状況であったのではないのでしょうか。これからの経営は技術と経験にプラスして変化スピードと先見性が求められる時代になりそうです。

昨年度は当工業会も関係諸団体と連携し、新しい情報、技術等の収集に努めてまいりました。今後も産学官の連携をより強めて業界の発展を推し進めることが重要な課題ではないかと思われまます。

会員の皆様におかれましては業界が縮小する中、厳しい経営を余儀なくされると思いますが情報を密にし、一致団結し次の地代を迎えられるよう祈念いたします。

## 2. 会員の移動

会員	区分	26年5月	27年5月	増減	摘要
関東プラスチックリサイクル協同組合		50	51	+1	
日本合成樹脂有効利用組合		5	5	0	
東日本プラスチック再生協同組合		25	25	0	
愛知県プラスチックリサイクル協同組合		33	32	-1	
北陸合成樹脂商工会		4	4	0	
京滋プラスチックリサイクル工業会		11	10	-1	
関西プラスチックリサイクル商工会		15	14	-1	
九州プラスチックリサイクル工業会		8	8	0	
個人会員		4	3	-1	
合計		155	152	-3	

### 3. 会議開催状況

#### (1) 総会

- イ. 開催日時 平成26年6月10日(火) 午後2時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 47名 (本人出席31名 (委任状16名)) / 総数52名

#### ニ. 議事の経過及び議決の結果

平成25年度事業報告及び決算を承認したあと、平成26年度事業計画及び予算案を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法を議決し、常任理事及び理事を選出し全議案を審議終了した。

#### (2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成26年6月10日(火) 午前11時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 21名 (本人出席21名) + 事務局1名

#### ニ. 協議事項

1. 通常総第38回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成25年度決算報告、平成26年度予算案の審議について
3. 市況分析
4. その他

#### (3) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成27年3月11日(水) 午後2時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 20名 + 事務局1名 + オブザーバー1名

#### ニ. 協議事項

1. 通常総第39回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成26年度決算報告、平成27年度予算案の審議について
3. 役員改選について
4. エコキャップ活動について
5. カーボンフットプリント活動について
6. リサイクル推進協議会の表彰について
7. 市況分析
8. その他

# 平成26年度 収支報告(予算・実績対比)(案)

自 平成26年5月 1日

至 平成27年4月30日

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要
賦課金	1,085,000	1,085,000	0	関東 50 350,000 日本有 5 35,000
参加費収入	50,000	130,000	80,000	東日本 25 175,000 愛知 33 231,000
旅行参加費収入	0	1,230,000	1,230,000	九州 8 56,000 北陸 4 28,000
受取利息	1,000	346	-654	関西 15 105,000 京滋 11 77,000
その他収入	0	0	0	個人 4 28,000
前年度繰越金	2,179,276	2,179,276	0	計 <del>158</del> 155 1,085,000
合 計	3,315,276	4,624,622	1,309,346	

## 支出の部

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要
教育情報費	300,000	1,865,421	1,565,421	予 業界懇談会費用(講演・講師御礼等) 実 ベトナム研修旅行費用
調査研究費	250,000	475,715	225,715	予 調査費 実 CFP登録のためのコンサル料360,000円、等
会議費	900,000	806,628	-93,372	予 第38回通常総会費 常任理事会 実 第38回通常総会・懇親会、常任理事会費用
福利厚生費	30,000	16,500	-13,500	予 慶弔費 実 故中村昌光様供花代金
通信費	30,000	0	-30,000	予 郵便料 実 無し
広告宣伝費	200,000	145,800	-54,200	予 ホームページ管理料、業界紙広告料 実 化学工業日報広告料、ホームページ管理料124,416円
事務用消耗品費	10,000	0	-10,000	予 事務用品代 実 無し
支払手数料	2,000	4,644	2,644	予 振込手数料 等 実 振込手数料9件分
旅費交通費	100,000	20,000	-80,000	予 交通費 実
雑費	100,000	0	-100,000	予 その他諸経費 実 無し
翌年度繰越金	1,393,276	1,289,914	-103,362	普通預金 1,220,468円 現金 75,696円
合 計	3,315,276	4,624,622	1,309,346	サーバーレンタル期間2013年6月1日～2015年5月31日

# 会計監査報告書

平成 26 年度決算について厳正に監査した結果、別紙収支報告の  
通り間違いのない事を報告いたします。

平成 27 年 5 月 20 日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 藤井 達雄



監事 二井 真



自 平成27年5月 1日

至 平成28年4月30日

## 1. 基本方針

デフレ経済も出口が見えかけております。国の経済が安定上昇軌道に乗れば、一時経済の悪化で置き去りにされた環境政策の見直しが始まると思われま。

当工業会の活動そのものが環境対応型業種ですので今後の国の動向に注視するとともに、より工業会の活動をアピールし、会員の皆様の経営向上に役立つ活動の推進に努めます。本年度はまず、カーボンフットプリントにおける標準原単位を元に会員の皆様の製品の一部ではありますが環境負荷値の表示を行えるよう仕組み作りを行います。産学官の連携をより強化し、技術情報の取得につとめ業界の拡大を図りたいと思います。

限りある資源の有効活用を通じて循環型社会の形成のために私たち会員企業が連携し社会の発展に貢献して行きたいと思ひます。

## 2. 事業計画

### (1)組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

### (2)広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

### (3)教育情報・調査研究活動

#### ①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

#### ②業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

#### ③関係団体等開催の講習会への参加

### (4)関係官庁・団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(社)プラスチック処理促進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検験検疫総局

## 平成27年度 収支予算 (案)

自 平成27年5月 1日  
至 平成28年4月30日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
賦課金	1,064,000	関東 51 357,000 日本有 5 35,000
参加費収入	50,000	東日本 21 175,000 愛知 32 224,000
		九州 8 56,000 北陸 4 28,000
		関西 14 98,000 京滋 10 70,000
受取利息	1,000	個人 3 21,000
その他収入	0	計 152 1,064,000
前年度繰越金	1,289,914	
合 計	2,404,914	

### 支出の部

科 目	金 額	摘 要
教育情報費	100,000	業界懇談会費用
調査研究費	350,000	調査費( CFP関係300,000円、他 )
会議費	900,000	第39回通常総会会費 ・ 常任理事会
福利厚生費	30,000	慶弔費
通信費	5,000	郵便料
広告宣伝費	200,000	レンタルサーバー費・H.P.管理料・その他
事務用消耗品費	50,000	事務費 等
支払手数料	5,000	振込手数料 等
旅費交通費	50,000	交通費
雑費	50,000	その他諸経費
翌年度繰越金	664,914	
合 計	2,404,914	



第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

※定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
  - ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。
- ※会費 金7,000円/一社 ※時期-総会后3ヶ月以内  
※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

※ リサイクル推進協議会の表彰について

ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

年度	グループ	各ブロック名(会員数...多少増減はあります)
H25年度	A	関東プラスチック(50社)
H26年度	B	東日本プラスチック(25社). 日本有効(5社)
H27年度	C	愛知県プラスチック(33社)
H28年度	D	北陸合成(4社). 九州プラスチック(8社). 個人会員(4社)
H29年度	E	関西プラスチック(15社). 京滋プラスチック(11社)

計155社

グループの動き(A→B→C→D→E)

本年度はグループC(愛知) (株)ビッグ合成樹脂 代表取締役 杉浦氏に決定しました。

第4号議案 役員改選の件

定款第20条に従って役員を選定する。